



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題 (2015-2016)

- 国際会長(IP) Mr. Wichian BOONMAPAJORN (Thailand)
"Mission with Faith" 「信念あるミッション(使命・目的)」
- アジア会長(AP) Mr. Edward ONG (Singapore)
"Through love Serve" 「愛を持って奉仕しよう」
- 西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)
「あなたならできる! きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!"
副題: -生きる しなやかに さわやかに- Live flexibly and refreshingly-
- 六甲部部长(DG) 進藤啓介(神戸クラブ)
「『YMCAと共に』 「人を育て・地域に仕える」
- 西宮クラブ会長(CP) 浅野 純一
「幸せな気持ちになれるクラブの活動」

★ 2015年12月 西日本区強調ポイント "EMC-E YES"
「Eの前にM(メンバー増強)。モットーの義務で、自分が連れてきてもらったように、仲間を連れてきましょう。ドロップの前に一人が一人を連れてくる工夫。YES献金は新規クラブ設立資金です」小野勲 絃 EMC 事業主任

我らのモットー: 強い義務感を持つと、義務はすべての権利に伴う
To acknowledge the duty that accompanies every right !

2015年12月第812号
《69期6号》
Since 5.17.1948

スポンサークラブ
・大阪クラブ
DBC 締結(2007)
・近江八幡クラブ
・広島クラブ

クラブ主役員
会長 浅野 純一
副会長 西山 茂夫
直前会長 山口 吉郎
書記 廣瀬 一雄
書記 山口 吉郎
会計 足立 康幸
会計 岩田 健司
監事 丸山 悦治
担当主事 宗行 孝之介
部Yサユース主査 山口吉郎

今月の聖句 「今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」ルカによる福音書 2章 11,13-14 山口政紀選

2015年12月第一例会ご案内

日時 12月12日(土) 17時~19時半
会場:オーシャンビュー須磨(受付:16:30分~)

ドライバー:足立ワイス、小野ワイス

1. 開会挨拶・開会点鐘 浅野会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 浅野会長
4. 聖句朗読・開会祈祷 山口政紀ワイス
5. クリスマスメッセージ 丹羽和子さん
影絵で綴る降誕物語(神戸ポートクラブ)
サポート:廣瀬、山口吉、足立、小野各ワイス
6. 会食
7. カントリーライブ&ダンスタイム SHAGGY
筒見&フレンズ、スパイシー・エンジェルズ他
8. お誕生日のお祝い 浅野会長
9. ワイズニュース 浅野会長
10. YMCAニュース 宗行主事
11. 閉会点鐘

(チャリティオークションを行います。ご家庭の余剰品をお持ち下さい。
アルコール類の持込みも歓迎!) 会費:男性6000円、女性5000円
(中学生以上のコメント含む)、コメント(小学生以下)2000円

【11月例出席状況】

第1例会(11/13日)	第2例会(11/27金)
メン 21名(内MU5名)	メン 11名
メネット・コメント 2名	メネット・コメント 0名
ゲスト・ビジター 4名	ゲスト・ビジター 1名
合計 22名	合計 12名
出席率 95.5%	
在籍数 22名	(累計出席率 94.5%)

【お誕生日】

馬場めぐみメネット(12/1)、山口まり子メネット(12/8)

【ファンド・BF累計】11月

ニコニコファンド ¥5000 累計 ¥20000
Brotherhood Fund (目標 345\$) ¥4800 累計 ¥15300
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥3200 累計 ¥10200
BF使用済み切手 (前期 ㄱ) 今期 ㄱ

【会長メッセージ】

浅野会長

12月になりました。日米開戦のことについて触れたいと思います。高校で歴史を担当して驚いたのが、多くの生徒が、わが国がアメリカと戦争をしたことを知らないことです。私は歴史を担当した際に、先輩や両親に12月8日のことを聞きました。そして、真珠湾を攻撃した時の思いとして、概ね「気持ちがあすっきりした、しかしアメリカと戦争して大丈夫だろうか」と語られます。

日清戦争(1894~95)で日本が清国に圧勝すると、早速、ヨーロッパ列強は弱体化したけれども「眠れる獅子」と恐れていた中国に利権を求めて殺到しました。その時にアメリカは中国への進出に加わりませんでした。ヨーロッパ列強の勢力争いにアメリカは関知しない、その代わり、ヨーロッパは南北アメリカ大陸のことには関知しないとの了解(モンロー宣言 1823)があったからです。しかし、アメリカは1898年方針を転換します。同年、アメリカはハワイを併合し、スペインとの戦争で勝利を収めてグアム島とフィリピンを領有します。そして最大の関心である中国です。中国に利権を有するヨーロッパ列強とわが国に対して、通商での機会均等や領土保全を要求します(「門戸開放宣言」1899)。有力国アメリカの発言は無視できません。日露戦争(1904~05)でわが国は勝ちましたが、これは20世紀の10大ニュースの上位に入ります。日本の勝利は世界の有色人種に勇気を与えました。第一次世界大戦(1914~18)でもわが国は勝ち、西太平洋で勢力を強めました。アメリカは太平洋で勢力を増す黄色人種の国に脅威を感じるようになり、日本を抑え込もうとします。背後に、20世紀前半には、白人社会に黄禍論(おうかろん)が広まっていました。

アメリカは中国や太平洋で利権を有する国家を集めてワシントン会議(1921)を開きます。この会議で、わが国は被告席に座られます。語弊があるかもしれませんが、現在の鯨の問題において、理不尽な攻撃を受けるわが国の立場に似た状況にあると思えます。会議でアメリカによって日英同盟(1902~21)が破棄されるに至り、得た中国利権の一部は取り上げられ、わが国は孤立していきます。日本人はアメリカが大好きでリンドバーグ、チャプリン、ベートルース、ヘレンケラーの来日を熱狂的に歓迎しました。今も戦前もアメリカ文化に最も親しみを持つのが日本人です。でも、フランクリン・ルーズベルト大統領(在位 1933~45)は、わが国を戦争へと導こうとします。彼は1940年の大統領選挙で、前年(39年)欧州で始まった戦争(第二次世界大戦)には参戦しないことを公約にして異例の3選を果たします。しかし、大西洋上での英首相チャーチルとの会談

(41.8)でナチスドイツとの戦いに苦しむイギリスを助けるために参戦することを約束します。2人は「この戦いは民主主義とファシズムとの戦いと」喧伝します。孤立するわが国はアメリカから戦争を仕掛けられないようにと考えてドイツの要請に乗って日独伊三国同盟(1940.9)を結んでいました。今から言うのは簡単ですが三国同盟の締結は敗着でした。決してファシズム国家ではないわが国を一括りにして、アメリカは日本を敵国としました。英米が組んだソ連は全体主義国家の最たるものなのですが、わが国は戦争回避のための外交努力を続けます。日米首脳会談を要請しましたが無視されます。ジェット機に乗れば半日余りでワシントンに行ける現代でも戦争回避は難しいのではと思える状況です。とうとう11月27日(日本時間)最後通牒を突き付けられます(ハル・ノート)。戦後の東京裁判で、インド人のパール判事が「このような最後通牒を突き付けられればモナコでも宣戦布告する」と言われた内容です。

1941年12月8日未明、わが国は真珠湾を奇襲攻撃しました。国際法では、不意打ちとゲリラ戦は禁止です。本国政府は在アメリカ大使館に暗号電報で、真珠湾への攻撃開始30分前にアメリカ政府に通告するように連絡しました。攻撃はハワイ時間7日、日曜日の朝8時(ワシントンの時間では午後1時30分)としていました。ワシントンの大使館では前日の土曜日夜、通勤者のためのお別れパーティーを開いていました。翌日の日曜日の休日は皆(みんな)寝坊をしていました。そこに入ってきた電報、大使館では大慌てで、翻訳とタイピングに手間取り、来栖大使がアメリカ政府に宣戦布告を手渡した時は、攻撃から1時間が過ぎていました。検証ではすぐに電話すれば間に合ったとされます。わが国は卑怯な国との汚名を着せられました。あまりにルーズベルトの筋書き通りに事が運んだので、大統領は知って攻撃をさせたのだとも言われます。山本五十六が搭乗した飛行機をキャッチできるアメリカが真珠湾攻撃を予測できないはずはない。しかも太平洋艦隊をハワイにわざわざ移したところで、最も警戒すべき場所ではないかと。一方で真珠湾攻撃ではアメリカ人2,400人が犠牲になった。ルーズベルトが攻撃させるという非道なことではあるが、フィリピンのアメリカ艦隊が攻撃されることは予測していたが、まさかハワイとはとも。諸説戦わされますが本当のことはルーズベルト自身にしかわかりません。いずれにしても日米戦争はわが国が望まない戦争であったことは確かです。授業において「日本は戦争に敗けて良かった」と言う生徒がいました。そのように思っている日本人も多くいると思います。アメリカ型の民主主義や文化を多くの人が好んでいます。わが国は大戦で300万人の犠牲者を出してしまい、その人々のことを思うと、私はそのようには言えません。改めて「日本とは」を勉強し

たくなります。ところで、日本人の犠牲について言及すると、アジアでは日本の戦闘行為によって多大な犠牲者を出したとの非難があります。そのことについては機会があれば話し合ってみたいと思っています。

【ワイズニュース】

浅野会長

1. 各クラブのクリスマス会の日程です

◇神戸クラブ 12月12日(土) 18:30~21:00

イタリアンレストラン ガルニエ ¥6000

◇神戸西クラブ 12月12日(土) 12:00~15:00

三宮 グリーンヒルホテル

◇神戸ポートクラブ 12月10日(木) 18:30

特別養護老人ホーム オリンピア
20:00 三宮 グリーンヒルホテル

◇宝塚クラブ 12月12日(土) 18:00~21:00

宝塚ホテル西館(なかのしま、大阪セントラルと合同)

◇さんだクラブ 12月5日(土) 18:00~

JR三田駅前 キャピモール ささやかな会です

◇学園都市クラブ 12月12日(土) 夕方

学園都市YMCA

◇芦屋クラブ 12月23日(水・祭日) 18:00~

芦屋ホテル竹園

2 国際協力募金 12月13日(日) 14:00~16:00

神戸大丸前

3 Y・Yフォーラム 2月6日(土)13:00~17:00

栄光教会 その後懇親会



【第一例会報告】

ドライバー: 岩田ワイズ、万本ワイズ
(報告山本ワイズ)

11月13日(金)、西宮YMCA保育園3階にて、11月度第1例会が開催されました。

開会点鐘、ワイズソング、今月の聖句に続きまして、食事に先立ちユースリーダーの中島明音さんより、本年度名古屋YMCA 主管の全国リーダー研修会に参加した様子を、パワーポイントを使って説明頂きました。

酒井哲雄先生の基調講演に始まり、テーマ別討議や野外料理の作り方教室、親睦会等を通して、メンバーとの関わり方の学習、コミュニケーション能力の向上や全国のユースリーダー達と良き出会いが持てたことなど有意義な研修会であったとの報告がありました。来年度は神戸YMCAが主管とのこと、神戸YMCAに集うユースリーダーの今後の活躍やチームワークの強化が大いに期待されます。

その後11月23日(祝)に開催される西宮YMCAファミリープログラム(西宮ワイズ支援事業)について大須賀彩瑛リーダーから概要説明がありました。甲山森林公園での「紅葉のアートウォークラリー」と云うタイトルで15家族50数名の方々が参加される予定とのこと。学校行事の関係でユースリーダーの参加が3名と少数であるとのことからワイズの参加が期待され、岩田・長井・山本の3ワイズが参加することとなりました。

食事後、久しぶりにメンバーによるスピーチで足立ワイズにより、来年年初より運用されるマイナンバー制度について資料を用意して頂き、分かり易く解説して頂きました。マイナンバー制度の概要、主旨、安全性、利用上の留意点、罰則規定等の説明がありましたが、具体的な問題点についてはなかなか実感が沸かないせいか質問も出ませんでした。足立ワイズからはこの件についての質問や問い合わせは個別に相談頂ければ対応しますと言って頂きました。

出席者は、浅野会長、足立、石井、岩田、岡田、小野、阪根、長井、馬場(一)、濱崎、廣瀬、藤原、宗行、山口(政)、山口(吉)、山本各ワイズ、宮地特別メット、山口(洋)メット、河野ゲスト、阪田主事、中島明音リーダー、大須賀彩瑛リーダーの計22名でした。

【YMCA ニュース】

宗行 孝之介ワイズ

あつという間にもう木枯らしが吹きそうな季節になりました。みなさまお元気でしょうか？チャリティラン、そしてファミリープログラムご協力、ご支援ありがとうございました。



行事の秋も漸く峠を越しましたが、今度はクリスマスが近づいてきました。来週からいよいよアドベント(待降節)ですね。今年こそ心静かに迎えたいのですが…。

さて、11月12日に加納町新会館のくい打ちが始まりました。例会でもご案内しましたが何と481本の杭が打たれる予定です。何でもこの土地は旧生田川の河原だったそうで岩盤は比較的浅いところにあるようです。聖書のたとえにもあるように(マタイによる福音書第7章24節～)新会館もしっかりとした土台を作ってゆきたいものです。そもそも、この新会館プロジェクトは老朽化した旧加納町会館がもたらす諸問題を解決するために長い時間をかけて検討し現在に至ります。躯体の老朽化、設備の老朽化、修繕及び維持管理費の高騰、さらには事業構造の変化による会館利用の変化。これらに対応するために先ず脇浜のファミリーウエルネスセンターの建設、そして本館建設に至ります。ですから、これは単なる建て替えではなく、事業構造をも変革してゆく嚆矢と言う意味合いがあります。今後も地域社会の地の塩としての働きを見据えてこの一連のプロジェクトを進めてまいります。どうかみなさまの倍旧のご支援をお願いいたします。

【リーダー会便り】

3回生 宮脇 知紘リーダー

キッズは雨のプログラム「キッズ秋祭り」を行いました。グループでどんなゲームを作るのかを話し合い、金魚すくいやスーパーボールすくい等を廃材を使って作りました。1つ1つの道具にメンバーのアイデアが詰まっていて、個性溢れた作品を作ることができました。他のグループが作ったゲームを体験する時には遊び方を教えてもらうことでグループのお友達以外と関わることができ楽しく活動することが出来ました。

ジュニアは雨プログラムとなり、西宮YMCAでおにぎり作りをしました。子ども達は思い思いのおにぎりを作り楽しんでいました。買い物から片付け、その後の活動に至るまでグループの仲間と活動する

ことによりメンバー同士で個性を出し合える1日となりました。これからも子ども達がのびのびとできる活動にしていきます。

シニアは千丈谷で野外料理をしました。子どもたちで話し合ってメニューを決め、材料の買い出しも考えて行いました。火を付けるのに苦戦しながらもグループで協力して、美味しい料理を作ることができました。来月の山登りもグループの中でお互いを思いやりながら登りきることができたらいいなと思います。

【ファミリープログラム開催】

長井ワイズ(撮影)山本ワイズ

11月23日(祝) 甲山森林公園の甲山キャンプ場にて西宮YMCAファミリープログラム(西宮ワイズ支援事業)「紅葉のアートウォークラリー」が開催されました。当プログラムはYMCAの青少年教育活動の良さを少年会員の保護者へアピールすることを目的に年2回開催しているものです。一般会員、保育園の園児、学童保育の会員などから13家族50数名の参加がありました。今回は、学生リーダーが登学日のため3名のみでの参加となり、ワイズから参加した岩田、山本、長井はリーダー時代に戻ったように働きました。参加者がキャンプ場周辺で落ち葉や木の実などアート作品の収集をしている間、豚汁の買い出しから、料理までワイズ3名と職員1名で奮闘しました。それぞれ、50年、40年、30年振りのリーダーワークですが、テキパキと作業が進みました。参加者たちが収集から戻り、画用紙に貼り付けて素晴らしいアート作品を作りました。お天気が心配でしたが、なんとか持ちこたえ、たき火を囲み、作品を並べて鑑賞しながらお弁当を頂きました。もちろんワイズ奮闘の豚汁は好評でした。保護者の方々にドリップコーヒーのサービスをする、みなさん「うれしいです」といってコーヒーをすすりながら作品を鑑賞されていました。参加者からは、「次は是非一泊キャンプがしたいですね」との声もあり、YMCAの野外活動の楽しさを味わって頂けたようです。最後に長井ワイズからプログラムの主旨説明とワイズの宣伝もしておきました。



【DBC3クラブ合同ブリテン】

西山ワイズ(西宮クラブ)

「ゆっくり参加」

どちらかというと、団体やグループ活動は苦手
で、一人で過ごすのが自分の性に合っています。
Y'sには、カミさんに連れられてチャリティーワイン
やクリスマス会に参加しました。カミさんは何やら活
動をして走り回っていて、いつもY'sメンズの人た
ちに世話になっているとか、助けてもらっているとい
い、私が何もしてないのでもっとは手伝ってはどうか
と言いました。それで連れられてY'sの催しに参
加すると、必ず加入のお誘いを受けました。そんな
に世話になっているのなら、とお返しの気持ちで消
極的参加ではありますが会員になりました。

Y'sの皆さんの多くは、同じ大学の活動仲間で、
長年の付き合いで気心も知れた集団です。寄り合
いの回数も多く、他府県や、さらに世界の会合にま
で参加され、様々な活動や支援に積極的に参加され
るなど、流石にグローバルな組織体だと感心しま
す。

私も完全退職の時期が近づいており、趣味もな
く、友人も少ないので引きこもり老人にはならないよ
うに気をつけないといけません、みなさんと同じよ
うに東奔西走は身に合わないし、なんとか後ろに付
いて行こうかなと思っています。

【西日本区だよりー15・16】

EMC事業主任 小野 勅紘

痛てて、もう死にそう！

瀬戸山陰部部会(10月31日)

9月5日の六甲部部会を皮切り

に西日本区の部会行脚はその間に、EMCシンポジ
ウムや各クラブでの入会式、役員会、次期役員研
修会などの各行事を挟んで12月迄の3か月間の土
日を殆ど埋め尽くしてきた。理事をはじめ理事キャ
ピネットや各事業主任も全部会を通して出席してき
たので疲労困憊の域も尋常ではない。特にEMC事
業の出番はその倍はあるようで、よく続いてきたも
のと振り返っている。(それは時間的、体力的を含
めて経済的にもハードであるし、集計表や資料作成
を含めてハードの極み) たった1年間の活動を私
は悔いのないよう万難を排して参加してきた。

さてそんな部会の中で、部会そのものではなく大
変な事件を経験した。10月31日の「瀬戸山陰部部
会」からの帰りの車中でのこと。理事を挟んでボック
ス席で話をしていたところ、何か口中が引き釣るの
である。口に手を入れると手にべったりと血が付い



ていてびっくり！私は定年後ブリッジの失敗から多く
の歯を失って、部分入歯(義歯)のお世話になって
いる。それはまさしく「舌が入歯に噛まれた」感覚な
のである。義歯の針金がU字型に舌を貫いて激痛
が走っている。もうこれはどうしようもなく自力での脱
出は不可能と思われた。さすがに敏感な遠藤理事
が「小野さん入歯に噛まれたの？話さない方がいい
よ」と言ってくれた。おそらく口から血が漏れていた
のであろう。取り敢えず自宅の茨木駅までそのまま
我慢することにした。時刻は22時を大きく回ってい
た。駅で下車して、近くの救急病院に駆け込んで治
療を受けることにした。幸い当直の外科医がいて、
麻酔注射を打ってもらって何とか無事救出していた
だいた。しばらく痛みが残って、掛かりつけの歯科
医を訪ねて事情を説明するとお叱りを受けた。この
先生からはいつも叱られている。「歯が折れたり欠
損したら、そこに舌が入り込んで義歯で大変なこと
になるから、すぐに治療に来なさい」と。実は歯が折
れて1週間ほど放置していたのを見破られてしまっ
た。翌日は教会の礼拝から京都部部会にも出席し
たのだから、我ながら死にもの狂いであったと思わ
れる。人が見ると口から血を流した夜叉面のよう
だったかも知れない。痛みは11月14日の西中国
部部会まで続いた。その痛い舌で何とか西中国部
部会でのEMCシンポジウムを乗り切った。近江八
幡クラブの堀江宏ワイズからは「中々良かったよ」と
のお褒めをいただいたが、まさか義歯に噛まれた二
枚舌で語っていたとは想像もつかなかったこと
でしょう。

ロングランの西日本区キャラバンは部会9部、役
員会、次期役員研修会各1回、EMCシンポジウム
7回、入会式8回、クラブ訪問5回、EMC事業委員
会2回などを経て、今年は12月13日のびわこ部E
MCシンポジウムを残すばかりとなりました。これら
の詳しい状況はEMC事業通信に掲載いたしますの
で、西日本区のHPをどうぞ閲覧下さい。

最近西宮クラブでは嬉しいニューフェースの加入を
期待しております。1月8日の第一例会で、河野彰
さんの入会式を皆様でお祝いいたしましょう。

◆会計よりお願い

前期の会費が未納の方は早急に会計まで
届けて頂くか、口座振り込みをお願いします。

会計 足立ワイズ